

きよさと 組合だより



No.362



10月6日 清小楽しいキッズスクール農園収穫作業

清里小学校3年生食農教育活動 『清小楽しいキッズスクール農園』	2
3JA種子小麦播種前講習会	3
農業フォトギャラリー	3
令和2年度地域農業応援団視察研修	4
中標津支援学校職場体験	6
社労士による働き方改革関連への 対応等概要説明会	6
秋の給油所店頭キャンペーン開催	7
農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ	8
理事会の経過をお知らせ致します	9
組合員状況	9
お天気カレンダー	9
JAグループ通信	10
未来を拓く協同組合教えてー日本農業	11
家族の健康	11
農業者年金	12

もくじ

2020年
11
令和2年

清里小学校3年生
37名の生徒たち



清里小学校3年生食農教育活動 『清小楽しいキッズスクール農園』

収穫の秋迎える

10月6日、清里町農協青年部の畑において、食農教育活動『清小楽しいキッズスクール農園』の第3回目の授業である収穫作業が行われました。

前回の授業から3か月ぶりに畑に入った生徒たちは、7月に観察した時には青々としていた馬鈴しよの葉や茎が一変して、茶色く枯れた姿に変化していることに驚いた表情を浮かべておりました。

収穫作業が始まると、生徒たちは各々に割り振られた株を青年部員やJA職員に手伝ってもらいながら手掘りで掘り進めました。収穫作業が進む中、生徒たちからは「巨人みたいに大きい」「双子みたいな変な形」という感想が聞こえ、日頃家庭で見るものとは異なる形

ゲットだぜっ！



どんどん出てくる！



や大ききの馬鈴しよに興奮する様子が見られました。
収穫作業終了後、今年は隣の畑で果樹生産振興会が栽培しておりますリンゴの収穫体験も行われました。自分たちの手で収穫されたリンゴを見て「早く食べたい！」という声が多く挙がっていました。
今回収穫されました馬鈴しよは生徒1人あたり10個程度を選んて持ち帰り、残った分については清里小学校の給食で使用される予定となっております。

リンゴ赤くて美味しそう・・・



大きいのが採れた！



これを持って帰ろうかな？





3JA種子小麦播種前講習会

来年度の希望数量確保に向けて



種子麦生産組合
中平組合 組合長

9月10日、
3JA種子
小麦播種前
講習会がJ
A清里町2
階会議室に

て網走農業改良普及センター森氏
を講師にお招きして開催しました。

開催にあたり、種子麦生産組合
の中平組合長より「令和2年産の
種子麦は6月に天候不順、7月に
倒伏が見られ心配しておりました
が、皆さまのご協力のおかげで希
望数量を確保することができまし
た。令和3年も希望数量を確実に
確保できるよう改めて講習会で勉
強してもらいたいと思う」と挨拶
がなされました。

今回の講習では、今年度の斜里
郡3町における生産実績を気象と
生育経過から振り返り、発芽率の
低下や倒伏の多発・病害の発生に
ついて説明されました。

令和3年産の播種に向けては、
準備として、土壌のpHや播種量・
播種期設定の考え方、播種深度に
ついての注意点が挙げられました。
また、施肥量や、雑草・なまぐさ



黒穂病の防除対策他、種子審査の留
意事項の説明もなされ、特に質疑等
は無く講習会は終了しました。

～農業フォトギャラリー～



2集団 富山氏 大豆収穫



玉ねぎの選果作業



令和2年度地域農業応援団 視察研修

～減多に見る機会のない場所をまわって



10月3日、令和2年度地域農業応援団による視察研修が開催されました。当日の参加者は団員（組合員・一般町民）8名と関係者を合わせて17名で行われ、オホーツク管内のJA関連施設を日帰りで見学しました。



当日は午前8時15分に集合し、団長である三上専務より挨拶が行われました。その後出発して、9時30分に最初の研修場所である「オホーツクビーンズファクトリー」に到着。この施設では、オホーツク農業協同組合連合会（以下、「オホーツク農協連」）清水部長及び廣部課長より施設の来歴やオホーツクで扱われている豆の品種などの説明を受けた後、工場内を見学しながら作業工程についての流れについて教わりました。オホーツクビーンズファクトリーは様々な最新鋭の設備がそろえられており、参加者は興味深々な様子で見学しておりました。



次は午前11時より網走市の埠頭にある「網走市小麦集出荷施設」の見学が行われました。この施設ではオホーツク農協連森参事より施設の概要や年間出荷量などについての説明を受けた後、サイロ上まで移動してオホーツク海を眺めながらコロナ禍における小麦の消費に対する影響などの話を聞きました。





昼食は清里町に戻り、道の駅『バスランドさつる』にて清里町産の食材を使用した特別メニューが提供され、参加者全員で舌鼓を打ちました。



午後からの研修は町内にある『JA神威麦作センター』の見学から始まりました。本年度の小麦の受入状況や使用用途などの説明を受けた後、ヘルメットを着用して収穫機（コンバイン）や荷受・乾燥調製・貯蔵施設などの工場各所にて説明を受けました。更にサイロ上まで移動して清里町の風景を一望することができました。



続いては『JAでん粉工場』の見学が行われました。本年度のでん粉の生産状況などの説明を受けた後、ヘルメットと白衣を着用して工場内を原料の搬入から製品の出荷までの工程を見学し、視察研修の全日程が終了しました。



参加者からは今回の視察研修について「貴重な機会となった」等の感想が聞かれ、大変有意義な時間になりました。

学生現場実習受け入れ



9月14日～18日の日程で、中標津支援学校より職場体験として学生1名を受け入れました。

今回、JA清里町で受け入れられた学生は、中標津支援学校の高校3年生である清里町出身の森嶋士君。実習は主に管理課で行われ、パソコンの入力など事務中心の作業を行ってもらいました。

1週間という短い期間でありましたが、とても熱心で真面目に取り組んでいただきました。



社労士による働き方改革関連への対応等概要説明会

進む働き方改革、十分な認識を

9月9日、JA2階会議室にて

社会保険労務士の井上先生を講師としてお招きして役職員向けに働き方改革関連への対応等概要説明会が開催されました。

開会にあたり村上参事より「現在、働き方改革ということで色々な項目について改革がなされております。農協としても働き方について整理しなければならぬ状況となっておりまして、今回説明していただく内容を十分認識して仕事に臨んでいただきたい」と挨拶がありました。

説明会では、昨年4月に改正された36協定の改正前後の比較、罰則について、時間外労働上限改正の内容について例題を交えながらの解説、年次有給休暇の確実な取得についてなどの説明をいただきました。

説明会では、昨年4月に改正された36協定の改正前後の比較、罰則について、時間外労働上限改正の内容について例題を交えながらの解説、年次有給休暇の確実な取得についてなどの説明をいただきました。



した。

また、質疑では変形労働時間の導入について、季節工員の短期雇用の場合について、麦作・でん粉工場操業期における労働時間の計画についてなど多くの質問がなされました。





秋の給油所店頭キャンペーン開催 日頃からのご愛顧に皆様への感謝を



清里給油所と札幌給油所にて、9月25日の1日限定で『秋の謝恩キャンペーン』が開催されました。平素より、ホクレン給油所をご利用いただいている皆様への感謝と店頭業務活性化をねらい、ガソリン・軽油を店頭表示価格から5円/ℓ引きで提供させていただきました。今回は、朝から多くのお客様にご来店いただき、ガソリン・軽油合わせて15,718ℓと、昨年の夏に行われた同キャンペーン実績を上回る実績を得ることができました。



また、10月23日から24日の2日間限定で『秋のたまごキャンペーン』が開催されました。利用者には、ガソリン・軽油20ℓ以上満タン給油でたまご1パック、40ℓ以上で2パックが贈られました。更に、たまごキャンペーンに併せて、洗車プリカ半額やスタッドレスタイヤ購入を購入された方にAコープ商品券がプレゼントされるキャンペーンも実施されました。今回のキャンペーン期間では、ガソリン・ハイオク・軽油合わせて31,309ℓの実績を得ることができ、ガソリン・ハイオク等の揮発油については計画を上回る実績となりました。



ました。今後、お客様に喜んでいただけるサービスを心がけて参りますので、よろしくお願い致します。

農協法公布記念日にあたっての組合員・役職員へのメッセージ



北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 小野寺 俊幸

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で73年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況

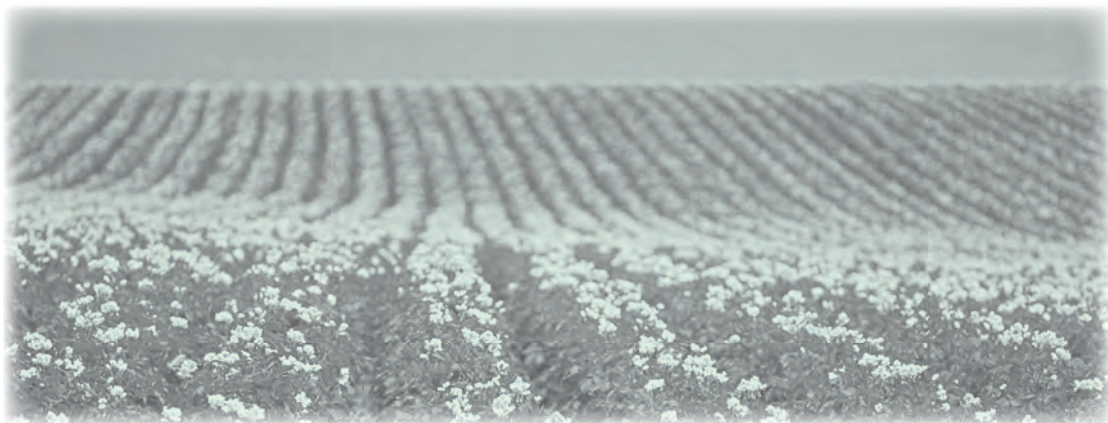
を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

今年は新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが、世界的に感染拡大しており、こうしたコロナ禍において、道民に対し北海道農業から行動を起こすことで、農業と人、農村と都市、生産者と消費者（生活者）の関係のあり方を見つめ直していただくため、「AGRI-ACTI-ON！HOKKAIDO（アグリアクションホッカイドウ）」と題した取り組みをJAグループ北海道が一丸となつて行っています。

「AGRI-ACTI-ON！HOKKAIDO」は、主に次の3つをテーマとした行動であり、まず一つは口頃、北海道産農畜産物を食べていただいている感謝をしつかりと伝えること、次に食料自給率の重要性に関する理解促進と具体的な行動変容を求めること、最後により多くの方に気軽に農業に接する機会を増やしてもらう（パラルノーカー）ための国民に向

けた情報発信であり、第29回JA北海道大会で決議いたしました「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」と「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」、次代につなげる協同組合の価値と実践」の一環として、しっかりと取り組んで参ります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持つて営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあつてのメッセージと致します。



理事会の経過を お知らせ致します

第9回

9月23日

付議事項

議案第1号 理事に対する貸付について
議案第2号 従業員に対する寒冷地・暖房手当の支給について

報告事項

1. でん粉工場操業の中間報告について
2. 畑作・青果をめぐる情勢等について
3. 畑作青果政策をめぐる情勢と今後の対応について
4. 砂糖の消費拡大事業実施状況について
5. 令和2年産小麦の格付結果に

ついて
6. 組合員の加入・脱退および事業の報告について

第10回

10月27日

■監査講評

1. 令和2年度8月末監査講評について

付議事項

議案第1号 理事に対する貸付について
議案第2号 理事に対する供給限度額の変更について
議案第3号 令和3年度固定資産取得に向けての仮発注について
議案第4号 令和2年度規模拡大による出資増口について
議案第5号 令和2年度9月期ディスクロージャー誌の設定について
議案第6号 令和2年度事業下期対策について

協議事項

1. 常勤監事体制の確立に伴う考え方について

報告事項

1. 令和2年度組合員勘定収支資

金計画の結果について

2. 第4回オホーツク農協畑作青果対策委員会の内容報告について
3. でん粉工場操業の中間報告について
4. 令和2年産でん菜糖分状況報告について
5. 麦作センター操業の最終報告について

6. 固定資産の取得について
7. JA清里町自動車・農業機械展示会の中止について
8. iDecoの取扱いについて
9. 不祥事未然防止に係る自主点検の実施結果について

10. 第9回JA清里町収穫感謝祭の中止について
11. 令和2年度役員道内視察研修の中止について
12. 内部監査の実施結果について

組合員状況

〈令和2年11月1日現在〉

■組合員数

〈前回報告より〉

正組合員 (個人)	220名	(変動なし)
〃 (法人)	13法人	(変動なし)
准組合員 (個人)	1,304名	(1名増)
〃 (法人)	0法人	(変動なし)
〃 (団体)	19団体	(変動なし)
(合計)	1,556	



北へ行くほど短い昼

12月21日は二十四節気の冬至です。一年の中で最も昼間の時間が短くなる日で、この日を境に日脚が伸び、昼間の時間が長くなり始めます。太陽のお正月のような節目で、「一陽来復」ともいわれます。

冬至の昼間の長さ(日の出から日の入りまでの時間)を見ると、那覇では10時間31分、東京は9時間45分、根室では8時間58分と、北へ行くほど短くなります。根室では、冬至の日の入り時刻は午後3時45分。ずいぶん早く暗くなってしまいます。地球スケールで見ると、北極はこの時期ほとんど日が昇らない「極夜」となります。

これから太陽は折り返し、昼間の時間が徐々に長くなって、太陽高度も高くなっていきます。北の地域ほど、太陽が力を増し始め明るくなるありがたみを感じるのかもしれません。



お天気カレンダー

気象予報士(株式会社ハレックス) ●檜山靖洋

JA北海道中央会



9月28日、JR札幌駅にて「フラワーキャンペーン～道産花き日常生活にプラス1～」を開催いたしました。

本キャンペーンは、北海道経済連合会とJAグループ北海道の主催で、新型コロナウイルスの感染拡大により需要が落ち込んでいる北海道産花きの需要を喚起することを目的として、お越しいただいた道民の皆さまに北海道産の花1,000束を無料配布いたしました。小野寺会長（JA北海道中央会）、真弓会長（北海道経済連合会）に加え、北海道のご協力のもと、鈴木知事にも応援に駆けつけていただき、1,000束の花全てを配布することができました。

皆さまも是非、ご家庭で北海道産の花を飾っていただくとともに、大切な人への贈り物などでも道産の花を取り入れて、花のある、そして華のある日常生活を楽しんでください。

JAグループ北海道は、「AGRI ACTION! HOKKAI DO」（アグリアクション北海道）の一環として、今後も北海道産花きの消費拡大に取り組み、花き生産者を含む全道の生産者を応援していきます。



JA北海道信連



8月25日、バイオマスリサーチ株式会社（本社：帯広市）と北海道信連、農林中央金庫は酪農・畜産へのバイオガスプラント普及に向けた連携協定を締結しました。3者が連携することにより、プロジェクトチームの組成、事業性評価とファイナンスメニューの構築に取り組み、ふん尿処理にかかる営農課題解決に加え、循環型で持続的な営農体系の確立と、エネルギーの地域循環の実現を目指してまいります。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取り組んでいます。

街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に活動しております。

今年度も札幌地区では9月23日に共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全運転を呼びかけました。



ホクレン



ホクレンは、「ホクレン大収穫祭」の一環として、北海道米「ゆめぴりか」計4tと、北海道産馬鈴しょ、玉ねぎそれぞれ計500kgを、札幌市内の児童福祉施設10カ所に寄贈しました。寄贈は今年で36回目。今年は新型コロナウイルスの影響で、札幌三越での会場販売が取り止めとなったことから、ホクレンの篠原末治会長が札幌市役所を訪れ、町田隆敏副市長に目録を手渡ししました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。10月発行の秋号においてはプレゼント付アンケートのコーナーもございます。是非、JA北海道厚生連のホームページをご覧ください。アンケートへのご協力をお願い致します。



JAグループ北海道の連合会の活動内容をご紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



未来を拓く協同組合

教えて! 日本農業

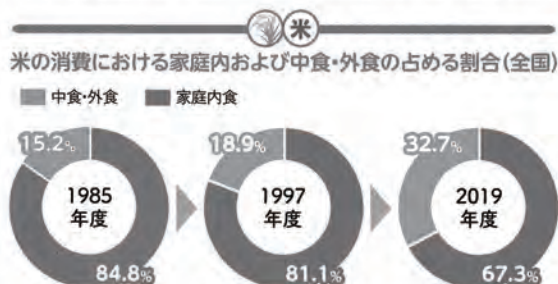
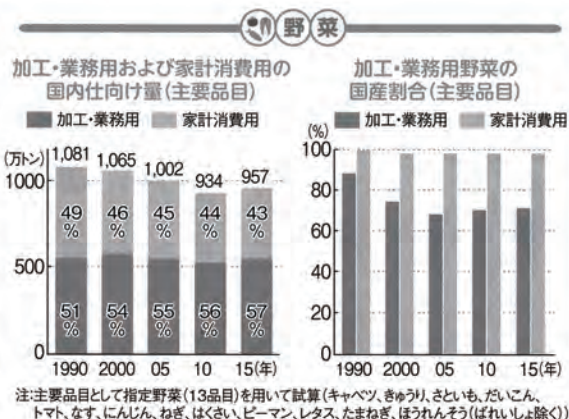
監修=JCA(日本協同組合連携機構)



加工・業務用需要

農畜産物の需要は、以前は家計消費が主体でしたが、社会構造・消費構造の変化に伴って、昭和50年代以降に食品メーカー等向けの加工用、外食・中食企業等向けの業務用が増えてきました。今では加工・業務用の需要が、野菜で全体の6割、米で3割を占めています。こうした変化に対応してJAグループはマーケットインに基づく生産や販売を徹底しており、2019年度には全国のJAの56.6%が加工・業務用需要に応じた契約販売に、52.8%が実需者のニーズに応じた出荷規格・数量設定に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、加工・業務用野菜の多くを輸入に頼っていることの課題が浮き彫りになりました。食料安全保障の強化のため政府は、加工・業務用野菜の国産への切り替えを推し進める方針を打ち出しています。



農水省資料をもとに作成

耕そう、大地と地域のまらい。



喉の粘膜には短い毛(繊毛)とせん毛(繊毛)があり、侵入したウイルスや細菌を除去しています。

この繊毛は、適度な温度と湿度のときに働きが活発になります。つまり風邪などの感染を防ぐためには、喉の乾燥対策が大切なのです。あめや炭酸タブレットをなめたりガムをかんだりして唾液の分泌を促したり、小まめな水分補給で喉を潤しましょう。耳の下にある耳下腺や顎にある舌下腺と顎下腺を軽くマッサージ

喉のバリアを高める

空気が乾燥する季節です。エアコンの効いた室内のみならず、屋外の農作業などでも、喉が乾燥します。喉が乾燥すると、風邪やインフルエンザにもかかりやすいので侮れませ

喉の粘膜には短い毛(繊毛)とせん毛(繊毛)があり、侵入したウイルスや細菌を除去しています。

この繊毛は、適度な温度と湿度のときに働きが活発になります。つまり風邪などの感染を防ぐためには、喉の乾燥対策が大切なのです。あめや炭酸タブレットをなめたりガムをかんだりして唾液の分泌を促したり、小まめな水分補給で喉を潤しましょう。耳の下にある耳下腺や顎にある舌下腺と顎下腺を軽くマッサージ

もちろん、喉の乾燥対策には室内の加湿やマスクの着用も欠かせません。無意識に口を開けて口呼吸をしていると、口腔(こうくう)内が乾燥しやすく風邪やインフルエンザの感染リスクも高まります。特にマスクを着用していると、口を開けて呼吸していることが多いので、心掛けて口を閉じて、鼻呼吸をしましょう。

感染予防には、喉の乾燥を防ぐ他に、栄養をしっかりと取って、十分な睡眠も確保し、体調を整えておくことが大切です。風邪やインフルエンザなどの感染症が増える季節、生活の中でできる予防策は行っておきたいですね。

家族の健康

健康科学アドバイザー ● 福田千晶

農業者年金

若いうちから!

女性にも!

節税対策にも!



60歳未満
国民年金
第1号被保険者
年間60日以上
農業に従事

以上の要件を満たす方なら
どなたでも加入できます。
詳細はHPにてご案内しております。
お電話でのお問い合わせもお気軽に。

長い老後を最後までサポート!

全額社会保険料控除で大きな節税効果!

保険料国庫補助による手厚い支援!



詳しくは… 農業者年金基金

検索

<https://www.nounen.go.jp>

独立行政法人農業者年金基金



農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

TEL: 03-3502-3199 (専門相談員)

TEL: 03-3502-3942 (企画調整室)



清里町

農業委員会

TEL 0152-25-2448

/JA

清里町

TEL 0152-25-2211